

(広報資料)

平成31年4月15日

京都市都市計画局

〔担当：都市景観部景観政策課〕
〔電話：222-3397〕

《本事業は宿泊税を活用しています。》

「新景観政策の更なる進化」に係る検討委員会からの答申の提出について

京都市では、社会経済情勢の変化を勘案し、「新景観政策の更なる進化」を検討するため、昨年7月に「京都市新景観政策の更なる進化検討委員会」を設置しました。

以降、検討委員会で6回の会議を開催し御審議いただいたほか、市民意見募集も実施のうえ検討を進めてまいりました。

この度、検討委員会から、「新景観政策の更なる進化」について、下記のとおり答申が提出されることとなりましたので、お知らせいたします。

記

1 日 時

平成31年4月18日（木） 午後1時～午後1時30分

2 場 所

京都市役所本庁舎3階 第一応接室

3 出席予定者

＜京都市新景観政策の更なる進化検討委員会＞

委員長 門内 輝行（京都大学名誉教授，大阪芸術大学教授） 他

＜京都市＞

市長 門川 大作 他

4 当日の流れ

- (1) 開会，出席者紹介
- (2) 答申の提出
- (3) 京都市からの謝辞
- (4) 閉会

5 その他

答申については、受領後に景観政策課のホームページに掲載します。

(参考)

1 審議経過

(1) 諮問日

平成30年7月25日

(2) 諮問事項

- ア 「優れた景観の新たな創造」について
- イ 「持続可能な都市の構築」に向けた規制・誘導のあり方について
- ウ 「個性や特色，期待される都市機能」に応じた地域ごとの規制・誘導のあり方について
- エ 地域のまちづくりに取り組むコミュニティ等との協働のあり方について
- オ その他

(3) 検討委員会等の開催状況

第1回	平成30年 7月25日	・京都市からの諮問 ・諮問の背景及び今後の審議の進め方
第2回	9月20日	・京都市における都市計画，景観政策における地域特性 ・ゲストスピーカーからの話題提供
第3回	10月17日	・新景観政策の更なる進化の方向性 (1) 主要な拠点エリアの景観等規制状況 (2) 高さ規制の進化の方向性 (3) デザイン規制の進化の方向性
第4回	11月15日	・新景観政策の更なる進化の方向性 ・ゲストスピーカーからの話題提供 ・エリアマネジメント等の新たなまちづくりの手法 ・今後の審議の進め方と市民意見募集
シンポジウム	12月22日	京都市景観シンポジウム 「新景観政策の更なる進化」
市民意見募集	平成31年 1月10日 ～2月12日	「新景観政策の更なる進化」に関する市民意見の募集
第5回	平成31年 3月6日	・市民意見募集の結果報告 ・地域のまちづくりに取り組むコミュニティ等との協働のあり方 ・寄せられた市民意見への対応
第6回	3月19日	・答申案

2 委員名簿（五十音順，平成31年3月末時点，敬称略）

氏 名	役 職 等
和泉 汐里	市民公募委員
大島 祥子	一級建築士事務所スーク創生事務所代表
川崎 雅史	京都大学大学院教授
佐々木 雅幸	同志社大学特別客員教授
谷川 陸	市民公募委員
辻本 尚子	公益社団法人京都府不動産鑑定士協会副会長
長坂 大	京都工芸繊維大学教授
中嶋 節子	京都大学大学院教授
宗田 好史	京都府立大学大学院教授
門内 輝行	京都大学名誉教授，大阪芸術大学教授

○

◎

◎：委員長 ○：委員長職務代理者